



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan

Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp

URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック
"Waking the Sleeping Giant with Blue Music"
「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
アジア太平洋地域会長 ラチャン マネカーン(タイ・チェンマイ)
"Awakening the Asia Pacific with Blue Music"
「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
西日本区理事 岡村 遍導(滋賀蒲生野クラブ)
「変わりつづけようワイズメン！ 私たちが見てみたい西日区！」
"Let's keep changing, Y's Men! To become the Japan
West Region we want to see"
六甲部部長 杉本 隆人(神戸学園都市クラブ)
「和を以て貴しとなす」
"To be true to oneself through harmony"
芦屋クラブ会長 福原 吉孝
「愉しければワイズでない。明るく賑やかに活動しよう！」

今月の聖句

その日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫にこの土地を与える。エジプトの川から大河ユーフラテスに至るまで、カイン人、ケナズ人、カドモニ人、ヘト人、ベリジ人、レファイム人、アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エプス人の土地を与える。」 創世記 15 章 18～20 節

8月西宮・芦屋クラブ合同納涼例会

と き： 2026年 8月21日(金) 18:00～20:30

と ころ： カクティーナ ケ インカント(阪神香櫨園)

I 部 例会 司会： 森川俊介担当主事

1. 開会点鐘 万本敬一会長
 2. ワイズソング斉唱 一同
- ★両クラブ・YMCA が必要に応じてアピール・報告

II 部 懇親会 司会： 井島裕介担当主事

3. 食前感謝 小野勅紘ワイズ
 4. 会食・歓談 一同
- イタリアコース料理 & ドリンク
イタリア音楽 & カンツォーネをお楽しみください

★両クラブからアイデアを出して楽しみましょう

5. 誕生日お祝い 万本・福原両会長
6. 閉会点鐘 福原吉孝会長

会費： 5,000 円 追加 1 ドリンク 1 コイン(500 円)

会 長 福原吉孝
直前会長 田辺征一
副 会 長
書 記 柏原佳子
会 計 桑野友子
監 事 上野恭男
担当主事 井島裕介
六甲部Yさユース事業主査 濱瀬眞知子

8

Aug., 2026
349号

EMC活動を積極化しメンバー拡大を実現しましょう・・・

会 長 福原吉孝

今年度もキックオフ例会が六甲部部長杉本ワイズをお招きし、上野ワイズの下、会長引継ぎ式も無事にスタートする事が出来ました。芦屋クラブ各位に、感謝申し上げます。

今回の巻頭言では、EMCについて、所見を述べます。

ワイズメンクラブのハンドブックを開くと、ワイズ用語の解説にEMCを・・・＜Extension & Membership Conservation＞と記載され「新クラブ設立と会員の維持と増強」と解説されています。強調月間として、9月が設定されており、「メンバー一人につき自治会や業界、ワイズ以外に所属する団体の友人・知人を例会に各自一人をお招きしましょう」となっています。

さて、私たちのワイズメンクラブの現状はどうなっているのでしょうか？・・・近年、メンバーの高齢化に伴いメンバー数の減少が大きな課題であるのが判ります。日本国も、出生率の低下が将来の人口減少に繋がり、世界で活躍する企業活動の低下や各種団体でもメンバーの減少が、大きな問題となりつつあります。

どうすれば、メンバーが拡大に成功するのでしょうか・・・

身近なご友人、知人を例会にお招きし愉しく懇談することが大事です。しっかりと懇親し、ボランティア活動が出来、社会貢献ができる素晴らしいワイズ活動をご理解頂ければ、楽しい仲間として参画頂けると信じます。YMCAのリーダーとして活動したOBの方々、教会でのご友人など、さらに長く企業人として頑張り定年退職された方々等をお誘いして頂ければきっと良い成功例になると信じます。

2 ページへ

7月第1例会集計

第1例会出席メンバー	13名	例会出席率	出席者	13名	BF切手	
メネット	2名	メイクアップ		名	累計	gm
コメット		合計		名	ニコニコ	
ビジター	2名	在籍者		16名		
ゲスト	6名	(内広義会員1名)				
合計	23名	出席率		86.7%	累計	11,900 円
						11,900 円

残された時間をボランティア活動で社会貢献しながら恩返しをしたいと考えていると思います。クラブ活動に興味のある方々が身近に沢山おられると思います。

ワイズ活動はその思いを実現できるクラブです。先ず、芦屋クラブ例会に出席の声掛けを致しましょう・・・芦屋クラブには素晴らしい成功事例があります。

関西学院OB 会として芦屋ワイズクラブと共同開催し、当時のグローバル学長をお招きしボランティア活動に関する講演を拝聴し、ワイズ活動の現状報告と懇親会を開催、さらに島田ワイズ出版記念講演会を後援し、ワイズ活動の資料配布等、ワイズ活動のPRをおこなった。この企画をキッカケとして、芦屋クラブに参画されメンバー拡大の成功経験があります。

近年、六甲部としても、EMC主査を中心としてボランティア活動するYMCAのPRの為、一般の方々をお招きできる講演会や勉強会を開催しメンバー拡大を目指します。是非、EMC活動を積極化し、メンバー拡大を実現しましょう・・・

7月第1例会報告

日時： 2026年7月15日（水） 19:00～21:00

場所： ホテル竹園芦屋 （敬称略）

参加者： 福原吉孝会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・権甲植・島田 恒・田辺征一・堤 清・中島かおり・濱瀬真知子・坂東幸子・船橋知子（各ワイズ）・大澤昌子・島田保子（各メネット）& 井島裕介担当主事

ビジター： 杉本隆人六甲部部长・山根 泉六甲部会計

ゲスト： 伊藤八重子・大西 謙・渡辺徹也・松本 昭・丘 博通（島田ワイズ友人）& 黒田基喜（みどり作業所職員）（計 23 名）

7月第1例会はキックオフ例会と名称されています。公式訪問として部長キャビネットを迎え正式な会長交代式が行われました。部長キャビネット立ち合いの下、田辺会長から福原



会長に会長バッジが引き継がれました。ワイズには、会長交代式や入会式の式辞が用意されていますが、今まで窮屈だという一部の意見があったことから、だんだんと略式に甘んじてきました。今期を機会に、チャーターメンバー上野恭男ワイズが読み上げ福原会長が、「ハイ！」と力強く答えられました。



形式を重んじるのは時に大切だと考えます。クラブの会長にとって改めて職務の重大さを確認できる良い機会だと思います。

聖句は羽太英樹さまから権甲植ワイズに委ねられ2年になります。「祈るときは静かに自室で祈りなさい」そして改めて「主の祈り」の大切さを思います。

井島担当主事会員より食前感謝が捧げられ、会食が始まります。竹園Hらしいビーフカツのプレートに3卓から「ワー美味しそう」と感嘆の声が上がりました。「芦屋神社」という名のパンも話題に上りゲストの多い時には、特に食事の内容が気になります♪

続いて今期の六甲部長のご挨拶をいただきました。

3日後に評議会が予定されていますのでそこで部長方針を話されることと思います。

「みどり福祉作業所」の大澤昌子副所長と職員の黒田基喜氏に芦屋クラブから支援金を新会長から贈呈されました。「きらり輝くアート展」にもご協力いただき活発に活動されています。

本日のゲストは、EMC事業委員の島田ワイズのメンバーズ・スピーチを楽しみに参加されているご友人も多い中で新しいゲストが芦屋クラブに興味を持っていたご様子に嬉しい期待感が生まれます。福原会長の前向きな意欲溢れた閉会点鐘が響き特に印象的な例会となりました。



柏原佳子

「私たちは今どこにいるのか」

毎年新年度7月に同じテーマを掲げて卓話を担当させていただいている。メネットからは、「また同じテーマ？」と言われているが、1年間の間に内容は大きく変わり、変わらない部分はそのままに、社会の変動と行先への思いを自分自身学び確認し、それをみなさまにお伝えする機会に感謝している。

今回の内容には、世界政治、それもトランプ大統領のコロナ変わる、伝統的な自由と民主主義を棚上げにアメリカファースト、いや自分ファーストの現状を説明し、世界全体が実質独裁的強権国家に傾いていることに懸念を表した。平和、人権、貧困、保健、地球環境等、世界が協力しなければならない課題が置きざれにされている現状を、数字を含めて訴えた。

経済は、30 年間にわたる各国の経済力を比較説明し、日本は世界シェア最高 18%が 4%に凋落、原因と共に今後の進むべき方向について私見を披露した。



そして、問題を抱える世界や日本において、NPO（非営利組織）の社会における重要性を価値観、つながりとして再認識し、この働きに期待したい思いを述べた。

わがワイズメンズクラブは、世界的に影響力の大きい YMCA と共に、この大切な役割に預かっており、心して社会のために、地域のために、そして自分自身の生きざまの充実のために歩みたいことを訴えて卓話を終了した。

例会後2・3の方に「卓話をご理解いただけたどうか」聞いてみた。大方は、知っていることもあったが、改めて大きな流れが理解できた、と答えいただいた。上記まとめも読んでいただき学びと刺激にお役に立てばうれしいです。

島田 恒

六甲部第1回評議会報告

7月18日(土)、今年度の第1回評議会が神戸 YMCA で開催されました。出席は35名、委任状提出38名。杉本隆人(神戸学園都市ク)部長の点鐘で会はスタート。ワイズソング斉唱、山根泉(神戸ク)の開会祈祷、小澤昌甲 YMCA 総主事の来賓あいさつで開会式を終えて評議会に入る。



「前年度の会計報告・監査報告」のあと「新年度の方針と活動計画」に移り、杉本部長は「和を以て貴しとなす」の主題のもと4つの事業:「YMCA サービスユース」、「地域奉仕・環境」、「EMC」、

「国際交流」を積極的に促進する決意を述べられた。

続いて事業主査およびクラブ会長から活動方針・計画案について説明があり、Y サ・ユース事業主査の濱瀬眞知子(芦屋ク)は「YMCA と共に! ユースと共に!」歩むことを強調された。



また、福原吉孝(芦屋ク)会長は「楽しくなければワイズではない。明るく賑やかに活動しよう」の主題のもと今期の活動予定を報告された。

10分間の休憩後、議案審議に入り次の3点を決定した。①部則改正のさらなる審議要請を行う。②「きらりと輝くアート展」開催 2027年3月18日(木)~21日(日)。③六甲部合同新年会 2027年1月16日(土)。YMCA の歌を斉唱し、閉会点鐘にて評議会は無事終了しました。



その後は、隣室での茶話会。スタッフが用意された本格コーヒーとおしゃべりできれば交流の時を持ち、各自三々五々会場を後にしました。

田辺征一

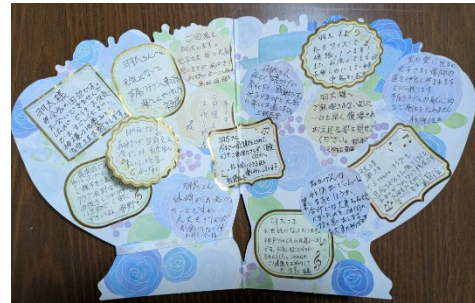
懐かしい羽太ワイズ邸を訪問

7月になりエアコンの無いころを想う日々、羽太ワイズが芦屋クラブを退会されるとの知らせを受けました。

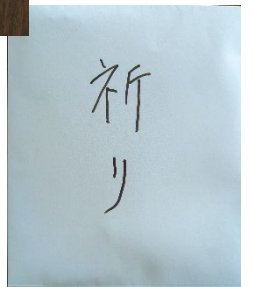
羽太ワイズは芦屋クラブに入会されたのは、21~2年ほどまえのことで、クラブの会計を担って下さいました。

以来、みどり福祉作業所の支援に心を尽くすなど、社会福祉に力を注がれる方でした。芦屋さくら祭りのチヂミの材料の買い出しに神戸市場に行き、名物のすしを共に食べ、柏原邸にて、大音響のステレオを聞きながら人参、ニラなどを共に刻みました。

羽太ワイズはいつも穏やかに行動される方で、思い出は尽きません。いま、健康が優れず芦屋クラブを退会されることは残念でたまりません。



7月20日、連絡ののち桑野ワイズ、柏原ワイズと共に羽太邸を訪れ、お見舞いの挨拶をすることができました。



久しぶり(1年ほど)にお会いした羽太ワイズは、少しやせたかなと思うくらいで、ベッドに座ってお元気そうでした。芦屋クラブメンバーから羽太ワイズへの思いを、会員各位に書いていただきお渡しすることができましたが、羽太ワイズはそれを嬉しそうに読み上げて下さいました。光子メネットからこんなこともしているのよ、と聖書の清書も見せていただき、羽太ワイズのクリスチャニティーを深く感じました。

光子メネットも病を抱えておられるので、共に支えあってしあわせに過ごされるようにと、心から思いました。ベッドの上には羽太ワイズの祖父母の写真が掲げられ、ドイツ人の血統を継ぐ羽太ワイズのことを改めて思いました。

これから羽太ワイズ、光子メネットに、いつ会えるかと想いを残しながら羽太邸を後にしました。



上野恭男

令和8年熊本地震災害支援金のお願い

- ◆ ワイズメンズクラブ西日本区理事より上記要望が出ております。芦屋クラブから100,000円を西日本区事務所に送金しました。
- ◆ 神戸 YMCA より緊急支援募金を開始、各自で支援金をYMCAの要請に従って送金ください。
- ◆ 西日本区・神戸 YMCA 双方から、「現在現地のより詳しい情報を集めていますので、くれぐれも個々人の判断による行動はお控えください」との事です。

『聖句 読み説き』

ヒブル語聖書の中でも良く語られるこの聖句箇所はアブラハムという、ユダヤ教の聖書にも書いてありながら、キリスト教徒からも「信仰の父」として尊敬される人物に対して、神が約束したという聖書箇所です。そしてこの聖書箇所が「今日でもイスラエルがパレスチナ地方に領土を広げるのは神の意思だ」と主張するユダヤ人やクリスチャン達の根拠になっています。つまり「エジプトからイラクのあたりまでが本来イスラエルの領土」と語るのです。ここで書かれている土地名は今日のパレスチナ地方のことで、つまり神様がイスラエルの民族に与えた土地にはこれらの諸民族が既に住んでいたのです。これ等の先住民を排除し住み着いたユダヤの人々は、その後、ヨセフの世代で飢饉の為にエジプトに逃げ「神から与えられた土地」を捨てるのです。しかもエジプトで奴隷として苦勞しだすと、かつて自分達が捨てた土地に逃げ、ふたたびその諸民族を排除し「自分達こそがそこに住み権利であるのだ」と叫ぶのです。自分達の都合によって、他の民族を押し付け殺戮し排除している権力を正当化しているのです。

聖句に記されている「エジプトの川」はエジプトとカナンを分ける小川で「ユーフラテス川はメソポタミアに在り、これらの土地を實際支配していたのはソロモン王治政のごく短い間だけなのです。

現在パレスチナ人の女性や子供達を含めておびたしい数の民間人を殺し続けるイスラエルを神は本当に支持するのでしょうか。このことは今の私達にも問い返します。

私達も時として自分達の耳に心地良いこと、都合の良いことのみを受け入れ、聖典全体が語る教えに関心を払っていないのではないのでしょうか。

「私達の神は愛と平和と希望の神なのだ」と自信を持って語れるキリスト者でありたいものです。 権 甲植

7月第2例会議事録

日時： 7月22日(水) 18:00～20:00

場所： 芦屋市民センター

参加者： 福原会長・上野・柏原・桑野・島田・田辺・濱瀬(各ワイズ) & 井島裕介担当主事

報告事項

- ◆7月20日(祝・月)羽太英樹・光子さまお見舞い(上野・桑野・柏原) お見舞いカードの一人一人のメッセージを読まれ、スクット立たれて歩かれた。
- ◆ロスターに井島担当主事会員が掲載されなかった理由 一部の方にしかこないメールを見落とし連絡がなかった為、ロスターの変更ができなかった。メール委員を六甲部メール委員と六甲部会長メールに申請、受理された。
- ◆EMC集計は引き続き田辺直前会長に依頼し、承諾してくださった。
- ◆8月納涼礼会中止の為、西宮クラブとの交流会とする。 8月21日(金)カクチャーナ、取り決め上野ー福原ー小野ー柏原 詳細はメールで知らせる
- ◆9月19日(土)瀬戸山陰部部会 ホテルモンテル 会費 10,000円
参加者： 福原会長・上野・桑野・田辺・浜瀬・柏原・追加参加申し込みは柏原まで、8月10日締め切り。
- ◆2025/26年度会計報告と2026/27年度予算の承認。

会長の仕事

- * 第1例会の計画と第2例会レジュメ作成と印刷
- * プリテン巻頭言
- * 理事通信の転送及び西日本区書記よりの連絡を芦屋MLで知らせる。
- * 月末に広報委員から送られてくる六甲部各クラブ例会案の作成と芦屋MLでクラブに転送する

西日本区への書類(会長と書記共有)

- * 前期半年報(済)、後期半年報の作成、広義会員申請異動届け(退会・新入会員)

書記の仕事

- * 第2例会の議事録
- * 第1例会の出欠 竹園との打ち合わせ
- * 六甲部部会及び各集会の出欠 担当者に送る
- * 六甲部からの連絡をクラブ員に知らせる
- * クラブ入会者候補と連絡を取る。(スポンサー・会長・CC) 書記 柏原佳子

YMCA ニュース

◆神戸 YMCA 定期総会のご報告

2026年6月27日(土)、「神戸 YMCA 定期総会」を開催しました。YMCA は都道府県で出自(成り立ちの意味)も異なり、法人も違います。しかし使命や理念を共有し、キリスト教運動を一致して、平和な社会を創るために「同盟」を組んで展開する仕組みとなっています。例えば、近くの大阪 YMCA は 1882 年に大阪天満教会で生まれ、近代化する社会のなかで渴望された英語学校、大阪青年会夜学校を開校します。神戸 YMCA は米国から帰ってきた村松吉太郎はじめ、後の同志社の総長となる原田助ら若き青年達の



精神的支柱となるべく、祈祷会の他、英語教室など、若き宣教師の力も重ねて始まりました。時代のニーズと共に変化する歩

みの連続の 140 年目を迎えます。専門学校、ウエルネス事業、乳幼児保育事業、発達支援事業、オルタナティブ事業、学童保育事業、地域子育て支援活動の他、数々の活動を支援するためのチャリティ活動の他、その事業、活動は多岐にわたります。時代の変化のスピードが急速に早まり、縮減社会の到来に、人がついていけるか?そんなことさえ疑念を抱く不確かな時代において、全ての事業所は、YMCA に来られる会員、児童、生徒、保護者の皆さんの心安らぐ場所になること。互いに仕え合い、人々の活動を通じて創出するボランティアの推進(活動やマインド)をはかること。事業、活動を自身の部署だけで完結せず、つながりを強化しながら共に進め、学びあうこと。そして社会課題に対しての取組を推進していきたいと考えています。ワイズメンズクラブの皆さまとも手を取り合って進んでいければと思います。引き続きよろしくお願いいたします。 担当主事会員 井島 裕介

編集後記： 熊本地震被災された方に心よりお見舞い申し上げます。災害の酷さと共に、猛暑の中の断水・停電が日常生活をより困難にしている様子に胸が痛みます。1日も早く平常が戻りますように祈ります。 桑野友子